

令和4年度鈴鹿工業高等専門学校入学式 校長式辞

本日、鈴鹿工業高等専門学校令和4年度入学式を挙行出来ますことは誠に喜ばしく、教職員ならびに在學生を代表して入学のお祝いを申し上げます。入学者は準学士課程211名、専攻科30名、そして第3学年にはマレーシアとモンゴルとラオスからの留学生3名を迎えます。

皆さんは人生の極めて早い段階で技術者への道を選択され、新型コロナウイルス感染症による混乱と不自由を乗り越えて難関の入学試験に合格されました。皆さんの決意と努力に心から敬意を表すと共に、皆さんの高専生活が実りあることを願い今高専で学ぶ意義と心がけて頂きたいこととお話しします。

高専は実践的技術者を必要とする産業界の強い要望で60年前に設立され、伝統ある一期校の鈴鹿高専は今年創立60周年記念事業を執り行います。これまで輩出した卒業生が社会の様々な分野で活躍していることは私達の誇りです。一方でスマートホンや人工知能をはじめとするイノベーションつまり技術革新により今日の社会や産業界は大きく変貌し、技術者に求められる能力がより高度になっています。その中で、高専にはあらためてこれまで以上に大きな期待が寄せられています。「イノベーションに必要な素養と高専の教育が一致している、この日のために高専があると言ってもいい、高専生は日本の宝だ」という声もあるほどです。皆さんは新時代の技術革新を担う技術者になることを期待されているのです。では技術革新に必要な能力は何でしょうか。

従来の技術者は既存の技術の改良など明確な課題の解決が求められ、専門知識があればある程度対応できた側面があります。しかし技術革新には、専門知識に加えて主体的に取り組む能力、従来の制度や考え方に囚われないクリエイティブな発想力、そしてコンピュータやロボットが到達できない豊かな感性が必要とされています。そして更に、専門が異なる人と協力して目的を達成する経験が極めて重要とも言われています。その理由は、今日の技術革新は異分野融合あるいは複合融合と呼ばれ、スマートホン技術のように様々な技術の融合で実現されているからです。

新入生の皆さん、高専生活では勉学に励んで確かな知識を身につけると共に様々な人と協力して様々なことに積極的に取り組んで下さい。これが心がけて頂きたいことです。専攻科に入学された皆さんは多くの大学生と比べて既に圧倒的な専門的技術力を身につけています。専攻科は総合イノベーション工学専攻の名前が示すように、まさに複合領域に対応できる高度で創造的な技術者の育成を目指しています。思う存分研究に打ち込んで下さい。

本校の建学の精神である、知・徳・体のバランスがとれた全人教育は時代と共に古びることなく、今一段とその輝きを増しています。この素晴らしい建学精神に則り、皆さんが鈴鹿高専で学び、色々なことに思い切り取り組み、良き友を沢山作り、青春を謳歌し、それぞれの個性に応じて成長されることを期待し、式辞とします。

令和4年4月5日

鈴鹿工業高等専門学校長 竹茂 求